

「隣人祭り」とは、近隣住民が料理や飲み物を持ち寄って、食事や会話などを楽しむ小さなパーティーのことをいいます。発祥はフランスのパリで、とあるアパートで高齢者の孤独死が発生してしまったことをきっかけに、近隣住民が声をかけ合って開催された、地域の絆を強くするパーティーが始まりです。多くの人の共感を得たその活動は、世界へと広がりました。渋谷区でも、パリと同じ都心ならではの社会課題を解決するため、29年から6月の第1日曜日を"ふだん話す機会の少ない近隣の人ともっと顔見知りになる日「渋谷おとなりサンデーの日」"として実施しました。

渋谷おとなりサンデーを開催して

フランス・パリで、ご近所さんが集まって持ち寄りパーティーをするようになって、ご近所同士のあいさつが増えたそうです。気難しいと思っていた人が、本当は子どもが好きだとわかって、面倒を見てもらえるようになったといいます。このように、ご近所で解決できる社会課題はたくさんあると思います。今回、おとなりサンデーは区内約40か所もの会場で、地域の皆さんによって開催されました。想定していた以上の開催数で、皆さんがやりたいと思っていてくださったのかな、とうれしく思っています。これから、皆さんの共感と賛同をいただきながら、区としてもしっかり前に進めていきたいと思っています。



渋谷区長 長谷部 健

すぐ近くに住んでいる

ご近所さん同士で、 料理を持ち寄りました。

とてもいいお天気で、 ピクニック気分で

楽しんでいます。



6月4日(日)区内約40か所で

子どもが生まれると、

子育ての面でもご近所さんと

つながりを持ちたいと

こういう取り組みは

とてもいいと思います。

感じるようになったので、





8谷おとなりサンデーが開催されました!

渋谷おとなりサンデーQ&A

Q.渋谷区に住んでいる人だけが参加できるの?

▲ いいえ、渋谷の街に住む、働く、学ぶ、訪れる人、誰でも気軽に参加することがで きます。例えば、会社の近隣の人たちと新しく顔見知りになることで、万一の際に お互い協力し合える関係が生まれます。渋谷の街で活動する人であれば、渋谷おと なりサンデーをきっかけに新しい仲間を増やすことができるかもしれません。

Q.具体的にはどんなことをやればいいの?

A. ピクニックなどの持ち寄りパーティーでも、ワークショップでも、やりたいこ と、得意なこと、誰もが自由に内容を決めることができます。気軽な気持ちで、 みんなで渋谷おとなりサンデーを一緒につくっていきましょう。

Q.渋谷おとなりサンデーは1年に1回だけなの?

△ 渋谷おとなりサンデーの日として設定しているのは、6月の第1日曜日ですが、 その準備や開催後の交流も含めて渋谷おとなりサンデーの一環と考えています。 日頃から近隣での交流が活発になり、新たな交流が広がる場が増えていけばと考 えています。

Q.私たちも渋谷おとなりサンデーを実施したい!

区内各所で行われている渋谷

おとなりサンデーの紹介や、 問い合わせに対応しました。

△ 29年6月4日の「渋谷おとなりサンデーの日」は終了しましたが、普段あまり顔





トークセッション

キックオフイベントの会場となった渋谷キャスト(渋谷1-23-21)では、メインテーマである「渋谷おと なりサンデーから考える、渋谷の地域コミュニティーのこれから」について、長谷部健区長、コミュニ ティFM「渋谷のラジオ」理事長 箭内道彦氏、東京理科大学教授 伊藤香織氏が語り合いました。



長谷部 今、渋谷の景色は、自分が子どもの頃からもどんどん変わってきてい るけど、コミュニティーの絆はずっとちゃんと紡がれてきたと感じています。 これをしっかり次の世代にも継承していくことは、成熟した国際都市としての 大きな課題です。みんなが交わって、新しい文化ができる場をこれからも提案 していきたいですね。そうした場があることでコミュニティーの絆が維持でき て、より強固にすることができると感じています。これを忘れず今後も、どん

どんこうしたプロジェクトを推進していきたいと思っています。

箭内 「渋谷おとなりサンデー」をこれからどう定着させるのかが重要です ね。私は"おとなりさん"という言葉が、渋谷にあふれるように工夫をしていき たいと思います。参加しない人も、"おとなりさん"という言葉に触れるように なることで変わることができると思うんです。マンションの隣の部屋の人と一 度も話したことがなくても、"おとなりさん"という言葉を意識していれば、災 害などがあったとき、自然につながることができるんじゃないかなと。だか



ら、"おとなりさん"という言葉が広がること自体にも意味があるんじゃないかと思っています。



伊藤 当事者として自分が動くことで、少しでも街が変われば、街との関係が 深まり、街が自分の誇りにもなるんじゃないでしょうか。それが、街に対する 区民の誇りです。どんな形でも、自分でできること、得意なこと、好きなこと をやってみるというのがいいのかなと思います。自分なりのやり方を模索して いって、それが文化になっていけばなおさらいいなと思います。渋谷はたくさ んの文化を生んできた街ですから。人と人が出会うと、新しい文化や生活スタ

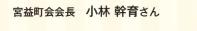
イルが生まれる。「渋谷おとなりサンデー」には、そのゆりかごになってほしいですね。

参加した皆さんに聞きました

地域の絆を強くするイベントに

渋谷は、もともと少し下町的な雰囲気があって、会えばあいさつをする関係性はあるんです。 災害や孤独死のことを考えると、おとなりさんとあいさつをする関係でいることが望ましいですが、単 身者が多いようなマンションはなかなかそうはいかないですよね。

あまり難しく考えることはないんです。ご近所だけだっていい。みんなの声かけがあれば全然違います から。こういう取り組みは大賛成です。地域のお祭りとはちょっと違う、地域の絆を強くするイベント に育っていけばいいなと思います。





こうやって気軽に顔見知りを

増やせるイベントは、

とても有意義だと思います。

た機会があったら参加したいし

今日もとても楽しめました。

自助、共助、公助といいますが、もっと大事なものは「近所」だと思っています。こういう催しは、今まで すれ違うだけだった人と初めて会話をするいい機会ですね。

災害などで避難生活をしなくてはいけないとき、それぞれの得意分野で、仕切りを超えて連携することが必 要だなといつも思っています。そのために「人を知っている」ということはとても重要ですよね。今回、顔 はわかるけど話したことがない人とも、あらためてゆっくり食事をして、会話をすることができました。地 域のつながりを再確認できましたね。



美竹の丘コミュニティ委員会委員長 中富 光春さん



区内各所で開催されたおとなりサンデーの様子



持ち寄りサンデー @恵比寿ビール坂

3家族で参加しました! 長く住んでいる大好きな 地元で、たくさんの人と 話せて楽しかったです。



@代々木公園



ご近所さんとは 普段立ち話程度で、 ゆっくり話す機会が

なかったので、

いいきっかけに



























アジサイと風車を 作ったり、塗り絵や ダンスをしたり、 いろんな遊びを 体験できました。

おはなし @神宮前















こんな風に、いろんな 世代や職種の人と 話ができることは とても刺激になるので 楽しいと思います。



6月4日に開催された渋谷おとなりサンデーについて は、渋谷おとなりサンデーHPをご覧ください。



渋谷おとなりサンデーの定着に向けて

区では、これからも、地域の皆さんのコミュニティーの絆を、より強くするさま ざまな取り組みを進めていきます。渋谷おとなりサンデーは、その中心的な役割 を果たす取り組みです。区民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

間地域振興課町会担当主査(☎3463-1649 🖾 5458-4906)